

## 喜怒哀楽

- インターハイの中止が決定されました。現時点で感染者0の「希望郷いわて」でなんとか開催してもらいたい、日本に希望を与えてもらいたいと思っていましたが、やはり命には代えられません。一番残念な思いをしている子どもたち、選手に寄り添う覚悟が求められます。
- 大変な世の中になりました。岩手でも知事、教育長の宣言から休校となりましたが、寄宿舎のある学校の前日開舎や短い期間の帰省帰舎は、これで本当に守ることは出来るのかと後悔してしまいます。が、子どもたちはとても元気で、なんとかみんなで乗り越えたいと思っています。
- 新型コロナウイルスのおかげで、ファクトとフェイクの違いや、ニュースの裏にある意図、国どうしの駆け引きなどが、あぶり出しのように見えてきた。生きた勉強にはなるものの、早く終息して欲しい。
- 初めて小6の娘と挑戦しました。楽しかったです。
- "ようこそ高教組!"のコーナーに、以前一緒に働いたお二人が紹介されていて、元気そうだな～、もう加入してくれたんだな～と嬉しくなりました。
- 昨夜、高2の娘が珍しく学校の授業の話をしました。世界史の先生が検事長の定年延長の件を話したそうで、心に残ったみたいです。先生、大切なお話をありがとうございました。
- こんなにゆっくりと桜を眺めて過ごすのはいったい何年ぶりか。プチ西行気分を味わいました。花は盛りにはとほは申しますが、やはり盛りの花に敵うものはないかもしれません。
- 新型コロナウイルス感染を考えると、大勢の子どもたちと3密になる我々の職場は、かなりリスクです。何か手立てはないのでしょうか？
- 先日、大通りの歩道で使い捨てマスクを売っていました。お手製マスクが流行っているのに、高い使い捨てマスクの需要が減っているはず。転売ヤーもそろそろ撤退して、普通にマスク売ってくれないかなあ。
- 岩手の学校はほぼ通常通りでうれしいことですが、ICT化の流れに取り残されて行くのではと危惧しています。学校間の差も大きいですね。
- 「コロナ」でわけがわからないような日々ですが、植物たちはいつもの年と同じように育っています。
- 在宅勤務をやってみました。通勤時間が無いこともあり、とても仕事が出来ました。大変なご時世ですが、プラス思考で頑張りました。子どもたちも喜んでくれたようです。イクメンパパより☆
- 新型コロナウイルス感染症、早く終息してワクチンできて安心して行動できるようになりたいですね。
- 在宅勤務ってよく分からない。これで仕事したかと自問自答しています。
- 在宅勤務。学校のパソコンじゃないと出来ない仕事ばかりで、思うようにはかどらない。
- 何も出来ない大型連休に突入しました。在宅勤務も導入されどうなることやら。9月始業の案も飛び交い始めました。3学年担当の教職員は特に大変です。
- インターハイも中止になりましたが、新人戦や選抜も難しいように感じます。寂しい1年になりそうですね。
- 世の中、新型コロナウイルス関連の話題ばかり。先が見えないことに不安を覚えます。子どもたちにも発熱症状が出ているようですが、保健所に連絡しても自宅で様子を見て下さいとのこと。岩手は受診さえさせてくれないのか・・・とさらに不安に。マスクをしていない方を見かけると心穏やかでないこの頃です。
- "チキン"と手を洗い、予防に努めます(九戸住民より)
- 新型コロナウイルス感染に注意!手洗い、うがい、マスクの徹底!さらに、不要不急の外出の自粛。3密の注意。家の中で工夫しながら、健康第一で楽しくいきましょう!
- 新型コロナウイルスの影響がどんどん広がっています...子どもたちのために、どうすることが一番なのか...考えさせられます。でも、何よりも命あってのことではないかと思えます。早く以前の日常に戻ってくることを祈って、皆で協力して出来ることをして...と思えます!
- 「学校は安全と言ったじゃないか!嘘つき!」と言われぬように3密避ける指導を徹底して下さい、と校長に言われました。
- 平日休日の境無く、マスクをして生活するのが当たり前になりました。かつては余程のことがないとマスクをしませんでしたが、これからは僅かな体調の変化にマスクをするでしょう。今回の"コロナ禍"により、これまでの「当たり前」は形を変え、新しい「当たり前」が定着していくのだと思います。
- 転勤したばかりですが、同僚の顔と名前がいまだに一致しないまま1カ月が過ぎようとしています。
- みんなで我慢しましょう。不自由な生活を満喫しましょう。
- 休校の動きの中で、子どもたちが学校にきちんとなじんでいるか心配です。
- ドリフターズ世代です。志村けんさんが新型コロナウイルス感染による肺炎で亡くなったことはショックです。「8時だヨ!全員集合」は生で放送されていたことは今でも驚きです。思い起こせば、当時は学校が土曜日もあって、休みが日曜日だけで、土曜日の夜は最高の時間でした。今の子どもたちや若い教職員の方々は、土曜日授業など信じられないのではないのでしょうか?「半ドン」という言葉をどのくらいの割合の人たちが知っているか調査してもらいたいものです。
- 転勤です。毎回ですが新しい学校に慣れるのはなかなか、大変です。
- 分会内での組合活動が、校務の多忙により充分に行えなくなっている事を、残念に思います。新昇給制度導入以降にそれは、顕著であると感じます。